



# 一般社団法人日本臨床発達心理士会 設立のご挨拶

## 一般社団法人日本臨床発達心理士会とは、どんな団体か



一般社団法人日本臨床発達心理士会(以下、本会)は、一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構(以下、機構)により資格認定された臨床発達心理士が集まってできた団体です。

臨床発達心理士は、日本発達心理学会などの学会連合により 2001 年に資格認定が開始されました。2003 年にはその有資格者によって機構内に「日本臨床発達心理士会」が設立されましたが、本会はこの度機構から独立し、2023 年 4 月 1 日より一般社

団法人として活動を始めましたので、一言ご挨拶申し上げます。

臨床発達心理士有資格者のほとんどが本会の正会員であり、全国の様々な領域で活動しています。また、正会員は全国 19 支部(2023 年 4 月現在)に属して、その地域にあった支援を展開しています。

詳細は、本会ウェブサイト (<https://jacdp.jp/>) をご覧ください。



## 臨床発達心理士とは

臨床発達心理士は、特に発達の問題に強い心理資格です。発達の理論に基づき、生態学的・包括的アセスメントを起点として、対象者および対象者と共に生きる人々の発達支援の手立てを考えていくところに特徴があります。

乳幼児期から老年期までの生涯において、人が変化・成長をとげていく全ての発達過程を個別に支援し、同時に対象者にかかわり合う人々の変化と成長にも支援します。共に生き合う人々のライフステージに応じた適切な支援を生涯にわたって行うことで、一人一人の発達を豊かに促していくことが臨床発達心理士の役割といえます。

## 臨床発達心理士の資格

臨床発達心理士資格取得にあたっては、発達心理学隣接諸科学の大学院修士課程を在学・修了しているか、あるいは発達心理学隣接諸科学の学部卒でかつ現場での臨床経験があることが、取得申請の基準となっています。つまり専門性が高い資格といえます。さらに資格取得後も研修会を通じて研鑽を積み、5 年ごとに資格更新をしていきます。

## 臨床発達心理士の活動の場

臨床発達心理士は、様々な場所で活動しています。

例えば、

- 児童発達支援センター、児童発達支援事業所
- 保育所、幼稚園、認定こども園
- 特別支援学校、小学校、中学校、高等学校、大学
- 児童福祉施設、障害者支援施設、老人福祉施設、保護施設、その他の社会福祉施設
- 教育委員会、児童相談所、その他地方自治体の機関
- 保健所、保健センター
- 病院、診療所



この他にも、相談室や支援施設を自分で運営している会員もいます。大学教員である会員は、後進の育成や発達心理学に依拠した研究を日夜進めています。

各職場では、発達心理学に基づく発達支援に強い職員として、リーダー的役割を果たしている会員が多く存在しています。

## 臨床発達心理士が行政や外部組織から委託を受けることを推し進めています

本会でのこれまでの実績の一例を示します。

- 地方自治体の福祉部や教育委員会の依頼を受けて、講師、スーパーバイザー、巡回相談員などとなる。
- 最高裁判所からの委託により、ハーグ条約に基づく子の引き渡し強制施行に伴って子どもたちの心身の安全・安定を図るための「執行補助者」となる。
- 地方裁判所において、子の引き渡しに関する研究会の講師となる。
- 「いじめ問題重大事案についての第三者委員会」の委員となる。
- スクールカウンセラー（現行規定では臨床発達心理士は「準ずる者」）となる。



## 臨床発達心理士の強み

臨床発達心理士は、発達の問題に強い心理資格として、特に他の心理資格と異なる強みを持っています。

### ◎生涯発達を見据えた支援

- ❖ 周産期、乳幼児期、学童期、青年期、成人～老年期と生涯にわたる発達を支援する。
- ❖ 発達障害や知的障害に対する豊富な知識と深い理解を携えた支援を得意とする。
- ❖ 子どもの進級や卒業、就労、転居、結婚、妊娠・出産、退職などの移行期において、次のステージでの目標や課題、必要な配慮を見通した支援をする。
- ❖ 子どもを取り巻く人々との関係性を支援する。
- ❖ 主体的に生きるための発達支援をする（現況や特性の精査・解明、解決法の相談）。
- ❖ 問題が生じてからではなく、予防臨床的な生活方法の提案や講習をする。
- ❖ 他職種や市民と協働して活動を進める。

### ◎子どもの心理についての知識に基づいた支援

- ❖ 子どもの立場や視点に立って、子どもの気持ちの代弁者となる。
- ❖ 学校などで生活しやすい対人関係のあり方を指導する。
- ❖ 医療的ケア児など非定型的な生活環境下の子どもの発達支援をする。

## こんなことは臨床発達心理士にご依頼ください

- 発達に関わるアセスメント
- 周産期から老年期にわたる、その時々の発達に関わるアドバイスや支援
- 困難な状態に陥る前の予防的な心理教育の実施
- 困難な状態に陥った場合、その要因や状況のアセスメントと具体的な支援や打開策の検討
- 支援をしている方への支援、コンサルテーション、スーパーバイズ、アドバイス
- 支援資源を有効に活用するためのコーディネート
- 支援者や理解者を増やし育てるための講演会・研修会などでの講師
- すべての人の幸せのための方策の検討や提言



ご依頼等は、士会のサイト (<https://jacdp.jp/>) の「お問い合わせ」、または士会事務局や各支部の連絡先にお問い合わせください。

## 準会員制度について

本会では新たに準会員制度を設立しました。準会員は、大学院生や学部学生の方、すでに発達支援の現場で働いている方、公認心理師の方などで、臨床発達心理士資格を取得したいと考えている方を対象にしています。

臨床発達心理士資格を認定するのは機構ですが、本会では、資格取得のために必要な知識や技能の学びの機会を提供したり、ケースレポートのスーパーバイズなどをして、準会員の資格取得の支援をします。



## 連絡先

一般社団法人日本臨床発達心理士会事務局  
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター  
TEL：03-6824-9398  
MAIL：jacdp-post@as.bunken.co.jp

北海道支部：cdp.hokkaido@gmail.com	長野支部：watanabe@seisen-jc.ac.jp
東北支部：jacdp.tohoku@gmail.com	北陸支部：jocdp.hokuriku@gmail.com
栃木支部：curimuchiek@gmail.com	滋賀支部：jacdp.shiga@gmail.com
群馬支部：jocdp.gunmahan@gmail.com	京都支部：info@jacdpkyoto.org
茨城支部：jimukyoku@ibarakisibu.jp	奈良支部：narashinnrshikai@gmail.com
埼玉支部：sai.jacdp@gmail.com	大阪・和歌山支部： hanwa@jacdp-kansai.org
千葉支部：jacdpchiba@yahoo.co.jp	兵庫支部：info@jacdp-hyogo.org
東京支部：jimu@jocdp-tokyo.net	中国・四国支部：info.jacdpccs@gmail.com
神奈川支部：jacdpkanagawa@gmail.com	九州・沖縄支部：jacdp_ko@outlook.jp
東海支部：jacdp.tokaishibu@gmail.com	

※「臨床発達心理士」は「一般社団法人臨床発達心理士認定運営機構」の登録商標(登録番号第 6368253 号)です。